

議事録

【会議名称】令和6年度 第4回朝霞地区在宅医療・介護連携推進会議

【日時】令和7年2月17日（月）15:30～17:00

【会場】和光市総合福祉会館3階 第2会議室

【出席者】別紙参照

【議題】(1) 令和6年度推進事業の進捗状況について（報告）

(2) 情報交換

(3) その他

議題（1）令和6年度推進事業の進捗状況について（報告）

事務局より資料に沿って報告

①朝霞地区在宅緩和ケア推進ネットワークについて

②急変時の対応ワーキンググループについて

議題（2）情報交換

テーマ「医療・介護連携推進に関連する住民（市民）への普及啓発活動について」

◆行政では市民向けのACP講座を開催し、エンディングノートやリーフレット、もしバナゲームなどを用いたり、グループワークを行うなどして市民の理解が深まるよう啓発を行っている。

市が主体となって開催する講座のほか、サークルや民生委員などからの要請に対して出向く「出前講座」も行っている。

また、独居の高齢者に対し、「緊急通報システム」の導入や、緊急時に備え、かかりつけ医・緊急連絡先などを予め記載しておく連絡カードの配布を行っており、今後さらなる周知を進めていく。

◆地域包括支援センターでは、市民講座や座談会形式のカフェの開催などを通じて、地域ごとの特性を活かしながら普及啓発を進めている他、個別訪問を通じて話を聞くなどしている。

◆市民講座の他、体力測定会や介護教室等、市民が集まる場にて、ACPや認知症・介護予防などについての情報を発信し、普及に努めている。

◆オーラルフレイル＝口腔機能向上に関する事業が進んでおり、今後さらに拡大していくことが必要。

◆介護認定を受けてからのACPは難しく、若いうち・元気なうちからACPに取り組めるよう普及啓発していくべき。

【浅井議長】

病気にならず元気であるにはどうしたらいいのか、若い世代から啓発していくことが必要。予防接種を受け、健診を受け、自己管理が求められる時代になってくる。市民講座などで若い世代にもそういった情報を伝えていくことが重要。

【町田室長】

市民への普及啓発は非常に難しい中で、各地域で深く地道な活動が行われている。その情報を拡散していくことが重要であり、そのためには行政が大々的に広報するのが効率的ではないか。

また、4市とも講座などの対象を市民だけに限らず、地域全体に広げていく動向が感じられるので、今後更なる拡大を期待したい。

議題（3）その他

◆事務局より

- ・看取りシンポジウムについて案内。令和7年3月24日(月)19:00～20:00に開催。
- ・年度が変わることから委員交代がある場合は事務局に連絡をお願いします。
- ・次回推進会議開催日程について承認を得た。

***** 次回開催 *****

【日時】令和7年5月19日（月）15：30～

【場所】和光市総合福祉会館3階 会議室2

記録：奥